

# 熊本大学医学部附属病院 乳腺・内分泌外科 専門修練プログラム

## 1. プログラムの概略・特徴

乳癌は女性の悪性腫瘍のなかで最も頻度の高い疾患であり、年間4万人以上が罹患し、1万人以上が死亡している。乳癌死を防ぐためには、マンモグラフィを用いた検診と適切な治療選択が鍵となり、そのためにはこの分野に特化した知識、技術、応用が必要である。本プログラムでは乳癌検診、画像・組織学的診断、手術治療、薬物治療（内分泌療法、化学療法、分子標的治療）の適格な選択と実施、緩和ケアなど幅広い臨床腫瘍学的な知識が必要とされている。日本乳癌学会の乳腺認定医・専門医取得、大学院での学位取得を目標としている。

内分泌外科では、甲状腺、副甲状腺疾患の外科的治療において一定の症例数と、学術的業績が求められており、乳腺専門医と並行して修練することができる。

## 2. 研修目標

### 【一般目標】

乳腺専門医として乳腺疾患の診療を実践できる医師を養成するための到達目標を定め、研修を実施する。乳腺専門医の申請資格には基盤学会の認定医・専門医であることが必須とされており、日本外科学会の外科専門医と乳腺専門医の研修も併行して行う。卒後2年の初期臨床研修後、学会指定の研修施設において5年間以上の研修経験を積む。乳腺疾患に関する全般的、専門的な研修により、乳癌の診療に携わる専門的な医師を養成する。研修期間に大学院に進学し学位を修得することも可能で、国内・国外留学も可能である。

内分泌外科専門医についても上記と並行して修練することが可能である。

### 【行動目標】

日本乳癌学会が定めた、到達目標（基本的知識、基本的診療技術、専門的診療技術、生涯教育、医療行政）と認定施設（関連施設も含む）での診療業績（100例以上の乳癌手術症例数の経験）、研究業績（一定の欧文論文、日本語論文、学会発表）をクリアする。

内分泌外科においても一定の症例経験、研究業績を積むことができる。

## 3. 研修スケジュール

3年目～9年目

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
A	大学病院	関連施設	大学院（一定期間社会人大学院も可）				*
B	大学病院	関連施設		大学院（一定期間社会人大学院も可）			
C	大学病院	大学院					*
D	大学院				*		

\* 大学病院、関連施設、国内外留学

乳腺専門医を腫瘍内科医として取得することも可能であり、この際には日本内科学会の認定医を取得して薬物療法中心の乳腺専門医、あるいは日本臨床腫瘍学会の薬物療法専門医を目指すこともできる。この際は個別に相談する。

#### 4. 評価

乳癌学会研修施設、日本外科学会研修施設において5年間以上の研修経験を積む。この際、乳腺専門医としての臨床経験、研究業績の達成度を責任指導医により評価する。特に、乳癌手術100例、良性乳腺疾患（乳腺症、線維腺腫、葉状腫瘍、乳管内乳頭腫、乳頭部腺腫など）、その他の疾患（乳腺炎、乳輪下膿瘍、女性化乳房症など）の経験と、乳癌の生物学的特徴を評価した薬物治療方針の理解について重要視している。また、甲状腺・副甲状腺手術の手術、学術業績において評価される。

#### 5. 募集人員

5名程度

#### 6. 実施責任者

岩瀬弘敬（教授）

#### 7. 指導責任者

乳腺専門医：

山本 豊（熊本大学附属病院）、西村令喜（熊本市市民病院）、川添 輝（熊本赤十字病院）

内分泌外科専門医：

岩瀬弘敬（熊本大学附属病院）

#### 8. 関連施設、学会認定状況

関連施設：熊本市市民病院（学会認定施設）、熊本赤十字病院（学会認定施設）、国立病院機構熊本医療センター、熊本労災病院、済生会熊本病院、人吉総合病院、天草中央総合病院、天草地域医療センター、国立病院機構都城病院、県立延岡病院、比企病院、東病院

#### 9. 連絡先

熊本大学附属病院 乳腺・内分泌外科

〒860-8556 熊本市本庄1-1-1

TEL 096-373-5521 FAX 096-373-5525

担当者 山本 豊（医局長）

E-mail breast@kumamoto-u.ac.jp